



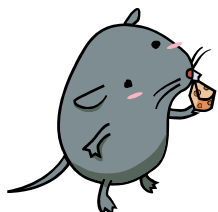
「ネズミ駆除のすすめ」

畜舎内で良くネズミを見かけることはありませんか？

宮崎県、岡山県で発生した高病原性鳥インフルエンザの調査の結果、野生動物（ネズミ、野鳥等）によるウイルスの持ち込みが原因の一つと考えられています。

皆さんの農場では、ネズミを見かけたことはありませんか？ネズミは夜行性なので、昼間は目につきにくいものです。しかし、畜産現場ほどネズミの生活・繁殖場所に適したところはないのです。また、その被害は間接的で認識しにくいものですが、放置しておけば衛生上、経済上ともに非常に甚大になります。今号では、ネズミの特性と駆除方法などについて簡単に紹介します。

1 ネズミの特徴と種類



夜行性で、繁殖能力は哺乳類の中でも極めて高い。
前歯が良く発達していて、一生伸び続ける。
一日に、自分の体重の一割程度の餌を食べるよ。

畜産現場では、主に**ドブネズミ・クマネズミ・ハツカネズミ**の3種類が**駆除対象**となります。

ドブネズミ：大型で体重が300g以上のものもある。家屋内、床下、下水などの周辺を行動し、床壁の割れ目、床下、地下に巣をつくる。餌に貪欲、凶暴で寒さ暑さに適応する。



クマネズミ：中型。よじ登ることが素早く、乾燥した所に巣をつくる。家屋内では天井裏、押入れ、壁裏等に巣をつくり、鴨居、梁などを伝って行動する。ビルなどでは高層階に住みつく。



ハツカネズミ：小型で体重が12~15g。跳躍力は強く、泳げる。積ワラの下などで見ることが多い。通常は畑地等に生息し、晩秋から冬にかけ屋内に侵入定着する。僅かの隙間を通ることができる。



2 ネズミによる害

ネズミの害は大きく分けて、2通りあります。とても深刻な影響を与える割には、被害が拡大するまでは認識しにくいいため注意が必要です。

衛生上の害 — 病原菌を運ぶ媒介者（ベクター）として働く。

経済上の害 — 畜舎や配管、電気コードなどがかじられる。
— 畜体自体の損失 例) 卵・ヒナの食害、子豚を食い殺すなど
— 飼料の損失

*1匹で20g/日、1年間では、約700kg近い餌が食害される。

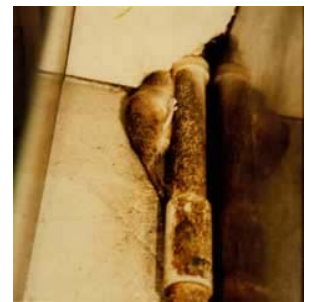
3 ラットサイン

ラットサインとは、名前の通り「ネズミがいるという証拠」のことです。

ネズミが頻繁に出没するような場所では通路ができたり、フンや尿で汚れたりする場所があるのです。

通路：多くの場合、移動する通路が一定しており、その通路が身体に付いた汚れや脂により黒光りしている。

フン：ネズミの活動が盛んな場所では、たくさんのフンが落ちている。



4 ネズミの生息数の推定

農場に住んでいるネズミの数は、観察することでもある程度推定できます。

- ①ラットサインが全く見られない：ほとんど生息していない。
- ②ネズミの姿は見ないが、ラットサインの様々な兆候が時々見られる：100匹程度生息
- ③夜間に時々、ネズミの姿を見かける：100～500匹生息
- ④昼間は時々、夜間はさらに多くのネズミの姿を見かける：400～1,000匹生息
- ⑤ 昼間でも頻繁にネズミの姿を見かける：5,000匹以上生息

5 ネズミの駆除法

以下の4点をうまく組み合わせて実施すると、より大きな効果が得られます。

①環境的駆除法：ネズミが生活できる環境要因を取り除く方法。

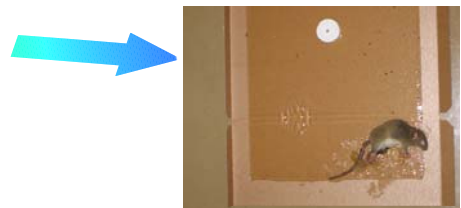
エサを入手しにくくする、巣の材料になるビニールなどを放置しない、通路になるような隙間をふさぐ など

②物理的防除法：粘着版やワナによる捕獲又は捕殺。

③化学的防除法：殺そ剤、忌避剤による防除。

④こまめな整理・整頓で生息場所を減らす。

以上の方法を組み合わせる必要があります。



整理・整頓の前に、殺鼠剤等を使用し駆除をしてください。整理整頓を先に実施すると、ネズミが周辺に逃げるだけです。作業の順序を間違うと、周辺地域への被害のもととなります。